

**「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画(第4期)」に基づく進行管理表(事業実施状況表)**

**第2 子ども、女性、高齢者、障がい者等の安全確保**

施策	事業	具体的な取組内容	H29実績	担当課
1 子どもの安全確保	(1)子どもみまもり活動の拡充	子ども・女性みまもり運動参加者の拡大、みまもり体制の向上	○ 県内の各事業者等に対して、「子ども110番の家」、「子ども・女性みまもり運動」への参加を継続的に働き掛けた結果、「子ども・女性みまもり運動」実施事業者数が増加し、みまもり体制が向上した。	環境生活総務課 生活安全企画課
		防犯ボランティア団体等と連携した通学路における安全対策の推進	○ 青少年非行・被害防止月間、子ども若者育成支援月間などの対策強調月間において、県民の意識高揚に資するチラシ配布など、街頭広報啓発活動を積極的に行った。 ○ 青色防犯パトロール隊や見守り隊などの防犯ボランティアと連携した登下校時における通学路の見守り活動を行った。 ○ 少年警察ボランティアとの連携による登下校時の見守り活動を行った。 ○ 小学生や防犯ボランティアなどと「地域安全マップ」を作成し、通学路の安全対策を推進した。 ○ 通学路の安全点検や緊急時における集団下校を学校管理者に指導した。	環境生活総務課 青少年家庭課 教育指導課 生活安全企画課 少女女性対策課
		道路や公園等への街頭防犯カメラの普及促進	○ 自治体、町内会、事業者等と連携し、通学路等の公共空間に街頭防犯カメラを設置した。	生活安全企画課
		「一戸一灯運動」の推進	○ 県内の各地域において門灯の点灯等により夜間の安全を確保するための「一戸一灯運動」を推進した。	生活安全企画課
		「子ども110番の家」との連携	○ 小、中学校等における犯罪被害防止教室等、県内の各地域において「子ども110番の家」の周知を図るとともに、活動に参加する事業者の拡大を促進した。	教育指導課 生活安全企画課 少女女性対策課
		老人クラブによるみまもり活動の支援	○ 通学時の子どもの見守り、通学路の安全点検等を行う老人クラブに対する支援と活動促進を行った。	高齢者福祉課
	(2)学校等における子どもの安全確保	高齢者によるみまもり活動の促進	○ 各地区において、シニア世代の見守り活動、防犯ボランティア団体等への参加を促進した。	生活安全企画課
		学校に対する子どもの安全確保対策の推進	○ 学校設置者に対して、安全確保のための危機等発生時対処要領(危機管理マニュアル)の整備、教職員への子どもの安全対策のための訓練・研修の実施や施設の安全点検を要請した。 ○ 教職員を対象とした、学校防犯に係る研修や安全教育・安全管理に係る研修を県内2か所で開催した。 ○ 私立学校における訪問調査時の危機管理体制の確認を行った。 ○ 災害情報や不審者人物等の情報提供を行った。 ○ 各種安全確保に係る通知(海外修学旅行・留学・部活動・登下校等)を行った。	総務課 教育指導課
		教職員等を対象にした子どもの安全確保の指導の徹底	○ 管理職や生徒指導主任・主事など教職員を対象とした研修を行った。	教育指導課
		子どもの安全確保に関する情報の交換・共有等	○ 学校と警察との相互連絡体制の共有や学校警察連絡協議会での情報交換を行った。 ○ 県下12警察署と各警察署管内の小、中、高校において、相互連絡制度や学校警察連絡協議会等を利用して744回の情報交換、情報共有を図った。	教育指導課 少女女性対策課
		児童福祉施設に対する児童の安全確保・安全管理対策の推進	○ 定例会議や研修会を通じて、児童福祉施設に対する安全管理対策を行うとともに、施設管理者や設置法人に対して指導監査を行った。	青少年家庭課
	(3)防犯に関する指針の普及	市町村と連携した安全対策の推進	○ 児童厚生員研修などを通じて、児童虐待などの危機管理に関する講習を行った。	青少年家庭課
		「学校等及び通学路等における子どもの安全確保に関する指針」の周知・普及	○ 指針の改正を行い、不審者侵入防止における防犯カメラの設置検討等を追加し、HP等で周知を図った。 ○ 関係機関、団体に対する周知を図った。 ○ 学校内や通学路等における児童の安全確保対策について、随時、学校などと協議を行った。	環境生活総務課 教育指導課 生活安全企画課
		社会全体で子どもを健やかに育てる気運の醸成	○ 児童福祉週間に先立ち、4月23日に松江市内において「児童福祉週間セミナー」を開催した。 ○ 7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に併せ、県下各警察署において各種キャンペーンを行った。 ○ 11月の青少年育成支援月間に併せ、県内各地で市民フォーラムや講演会、街頭キャンペーン活動等を行い、気運の醸成を図った。 ○ 11月の「子ども・若者育成支援強調月間」に併せ、フィルタリングの利用促進に関するチラシを配布した。 ○ 県下各警察署において、11月の「児童虐待防止推進月間」に併せた街頭キャンペーンを行った。 ○ 11月の「児童虐待防止推進月間」、「子ども・若者育成支援強調月間」に併せ、出雲警察署管内の女性少年補導員による「子育ておうえん隊」により、出雲市要対協と協働で大型店における街頭キャンペーンを行った。  ○ 児童虐待をはじめとした子どもを取り巻く諸問題への県民への関心を高めるため、意識啓発を推進した。 ○ 松江警察署では、11月の「児童虐待防止推進月間」に併せ、子育て応援メッセージ「ねがいがい」を作成し、子育て中の母親に配布した。 ○ 江津警察署では、スポーツ少年団と防犯ボランティアにより、波子海岸の清掃を行った。 ○ 浜田・隠岐の島の両警察署では、中学生を対象とした「鍵かけ甲子園」を開催した。	青少年家庭課 教育指導課 少女女性対策課
	安全教育的の充実	○ 子どもの防犯に関する知識及び意識を高めるため、県内の全小、中学校・高校における実践的な不審者対応訓練及び防犯教室を開催した。 ○ 県内教職員を対象にし、学校安全研修を県内2か所で行った。	教育指導課 少女女性対策課	

**「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画(第4期)」に基づく進行管理表(事業実施状況表)**

**第2 子ども、女性、高齢者、障がい者等の安全確保**

施策	事業	具体的な取組内容	H29実績	担当課
1 子どもの安全確保	(4)子どもを健やかに育てる取組の推進	学校やPTAと連携した研修の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や地域住民に対する子どもの被害防止のための研修を推進した。</li> <li>県内の小、中学校、高校の生徒指導担当に対し、子どもの被害時の情報や防犯上の注意点を指導した。</li> </ul>	教育指導課 少年女性対策課
		インターネットや携帯電話の利用によるトラブルや犯罪から子どもを守るための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年の安全安心なメディア環境を周知させるため、県内小、中、高校の保護者向けにチラシを配布し、ショッピングセンターにおいても同内容の広報活動を行った。</li> <li>全戸配布の広報冊子(フォトしまね)にネットトラブル関連記事を掲載し、注意喚起を図った。</li> <li>インターネットの利用に係る危険の啓発に関するチラシを2万枚作成し、街頭キャンペーンやネット安全(情報モラル)教室等で啓発活動を行った。</li> <li>ネットトラブルや犯罪から児童生徒を守り、情報モラルを向上させるため、学校への通知や、情報モラル・セキュリティ教育啓発資料等を配布し周知を図った。</li> <li>小、中、高校等で延べ276回のインターネット安全教室を開催して、児童生徒延べ33,236人に対してインターネットの危険性と携帯電話のフィルタリング利用の必要性について啓発を促進した。また、保護者説明会等の場で合計35回・保護者1,447人に対しインターネットの危険性等について思春期の子を持つ親の立場で理解を深めた。</li> <li>携帯電話販売店延べ51店舗に対し、フィルタリング利用の積極的な推奨について協力を要請した。</li> </ul>	青少年家庭課 教育指導課 少年女性対策課
		青少年にとって好ましくない環境の浄化	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉審議会健全育成部会において、有害図書・有害玩具の審査を行い、有害図書10冊を指定した。</li> <li>図書類販売店や深夜営業施設等107店舗への立入調査を行った。</li> <li>パチンコ店等の風俗営業店、コンビニ、カラオケボックス等の深夜営業店への立入調査を22回行った。(7月、11月)</li> </ul>	青少年家庭課 少年女性対策課
		万引き等の非行防止活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>県下各警察署において、コンビニエンスストア等事業者と連携して青少年健全育成協力店協議会を開催し、万引き防止対策を協議した。</li> <li>県内の小、中学校、高校335校(実施率90.6%)において、非行防止教室を開催した。</li> </ul>	少年女性対策課
		児童生徒の規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬物乱用の危険性についての認識を深めるため、依頼のあった小、中、高校において薬物乱用防止教室を開催した。(開催校数:小学校18校(585名)、中学校22校(880名)、高校7校(972名))(薬事衛生課)</li> <li>中、高校生を対象として、薬物乱用防止啓発用ポスターを募集し、知事賞についてはポスター図案にし、健康福祉部長賞の中の1点についてはクリアファイルの図案とし、薬物乱用の危険性について意識醸成を図った。(募集者数:中学生126名(18校)、高校生7名(4校)) 事業費:211千円</li> <li>管理職や生徒指導主任・主事など教職員を対象とした研修を行った。</li> <li>薬物乱用の危険性について理解を深めるため、小、中、高校において薬物乱用防止教室を開催した。(開催校数:小学校39校、中学校44校、高校32校)(少年女性対策課)</li> </ul>	薬事衛生課 教育指導課 少年女性対策課
子どもの立直り支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども若者総合相談センターを有する自治体を中心に予算助成など各種支援を行った。</li> <li>支援窓口が未設置の自治体に対しては、設置を呼び掛けるなど支援の重要性を訴えた。</li> <li>教育支援センターや民間施設等による児童生徒の学校復帰や自立支援を行った。</li> <li>県下4市(松江、出雲、浜田、益田)に設置の「子ども・若者支援センター」連携し、問題を抱える少年の就労、学習、居場所づくり等の立ち直り支援活動を行った。</li> </ul>	青少年家庭課 教育指導課 少年女性対策課		

**「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画(第4期)」に基づく進行管理表(事業実施状況表)**

**第2 子ども、女性、高齢者、障がい者等の安全確保**

施策	事業	具体的な取組内容	H29実績	担当課
2 女性 の 安全 確保	(1)女性みまもり活動の拡充	子ども・女性みまもり運動実施事業所、参加者の拡大	○ 県ホームページでの参加事業者の募集、事業者団体に対し子ども・女性みまもり運動への参加を呼び掛けた。	環境生活総務課 生活安全企画課
		女性が被害に遭いやすい場所におけるパトロールの強化	○ ボランティア団体と連携し、声掛け、つきまとい等の発生場所における街頭パトロールを行った。	生活安全企画課
	(2)住環境整備の推進	女性が安心して暮らせる居住空間の確保	○ 島根大学の講義において、学生を対象とした地域安全マップ研修を行い着重点の強化を図った。 ○ アパート管理者と連携し、防犯チラシを掲示した。	生活安全企画課
		業界主導による防犯に配慮したアパートの普及	○ 宅建物取引業協会や不動産協会のほか、アパート等の管理者などに対し、アパート等における防犯対策について協力依頼を行った。	生活安全企画課
		つきまといや性犯罪等の相談に対する適切な対応	○ 性犯罪相談受担当への新任・専門研修やDV被害者支援ケース検討会、その他圏域における連絡会の開催など、人材育成を主眼とした教養を幅広く行った。 ○ 女性相談関係担当者意見交換会を開催した。(県内全圏域) ○ ストーカー事案等に対しては、被害者の保護を第一に考え、組織的かつ適切な対応を推進し、性犯罪等の前兆事案に対しては、先制予防的活動を行った。 ○ 相談業務を担当する職員への研修会を開催した。 ・ 4/17 交番相談員研修会 ・ 4/21 警察相談員研修会 ・ 4/24 新任総務担当者研修会議	青少年家庭課 広報県民課 少年女性対策課
	(3)防犯情報の提供	女性の自主防犯意識の向上	○ 女性の自主防犯意識を高めるため、みこびー安全メールや島根県警察安全安心情報ツイッターをはじめとする各種広報媒体を活用して、リアルタイムに不審者情報などの防犯情報を発信した。	生活安全企画課
		アパート入居者等の防犯対策	○ 春に鍵掛け強化期間を設定し、アパート等に対する鍵掛けについて広報啓発活動を行った。	生活安全企画課
(4)防犯教室・講習会等の開催	女性による自主防犯技能の習得	○ 看護学校、大学や各種事業所などにおいて、女性を対象とした防犯指導や護身術教室を行った。	生活安全企画課	
3 高齢者、 障がい者 等の 安全 確保	(1)高齢者、障がい者に対する地域見守りネットワークづくり	特殊詐欺、悪質商法等の被害を防止するため、県民の連携を強化するネットワークの構築	○ 行政機関、県連合婦人会、福祉団体等と連携した地域見守りネットワークの構築を推進した。	環境生活総務課
	(2)高齢者に対する講習会等の開催	各地域単位での講習会等の開催	○ 県内各地域において、悪質商法や特殊詐欺被害防止等の出前講座を開催した。 ○ 老人クラブや市町村老人クラブ連合会等で、犯罪被害防止のための講習会及び見守り、声掛け、訪問活動等に関する講習を行った。 ○ 各地区において、高齢者対象の特殊詐欺被害防止教室等を開催した。	環境生活総務課 高齢者福祉課 生活安全企画課
		自治体や防犯ボランティアと連携による高齢者被害防止活動の強化	○ 地区の防犯ボランティアと連携し、高齢者の見守り活動を推進した。	生活安全企画課
		ネットワーク形成による高齢者に対する支援	○ 地域包括支援センターを中心に、高齢者に関する行政機関・医療機関等とのネットワークを形成し、権利擁護事業などの支援を行った。	高齢者福祉課
	(3)障がい者に対する相談支援活動の推進	地域生活における相談支援、情報提供	○ 市町村、指定相談支援事業者、障害福祉サービス事業者など、関係機関による連携した取組を行った。	障がい福祉課
		訪問活動による防犯指導や情報提供	○ 養護学校における防犯教室を開催した。	生活安全企画課
	(4)観光旅行者等に対する安全情報の提供	観光地や観光施設等での犯罪発生状況等の情報提供	○ JR主要駅前及び観光地において、チラシ配布等各種防犯キャンペーン活動を行った。	観光振興課 生活安全企画課
宿泊施設における安全確保		○ 実績なし	観光振興課	
	犯罪の発生状況やシーズンに応じた安全対策	○ 大型連休などの帰省時期に合わせ、JRと連携し特殊詐欺に関する放送を行うなど、家族・地域の絆の強化を図る取組を行った。 ○ 観光地等において防犯ボランティアと連携したパトロール活動を行った。	生活安全企画課	